

ECN210 会計学

2年 3,4クォーター

担当教員 岡崎 英一

授業形態 講義

アクティブ・ラーニング 該当しない

単位数 2

曜日・時限 火曜日・5時限

授業概要

地域課題の探求及びその解決のためには、地域の企業等の経営活動、その財務状態等についての調査・研究が必要となる。そのためには地域の企業等の経営・財務に関する会計学の知識が必要となる。また地域の企業の国際化のためには、国際会計基準（IFRS）に関する知識も必要となる。本授業では、企業等の会計に関する基本的な理論やルールを学び、それに基づく適切な情報作成や伝達（財務諸表の作成）について習得し、さらにその数値の分析方法を身につけることにより、地域企業をめぐる課題探求・課題解決のための基本的な知識を習得する。また国際的な会計ルール（国際会計基準等）についての概説を行い、我が国の会計ルールとの違い等についても一定の知識を身につける。

到達目標

学生は地域課題の探求及びその解決のために必要となる、

- (1) 日本の会計制度を理解する
- (2) 損益認識の基本原則を理解する。
- (3) 資産・負債・純資産処理の基本原則を理解する
- (4) 財務諸表をもちいた企業等の経営情報を理解する

先修科目

経営学概論

教科書・参考資料等

受講時に資料を配布する。

授業の方法

配布資料に基づき講義を行う。PC等の情報機器を用いて、計算問題等を解くことがある。なお、2～3回に一度課題を与え、それまでの講義の内容を確認する。また適宜、特定の課題について、受講者全体で討論を行うことがある。

成績評価

講義の理解状況、与えた課題の取組状況、最終試験の状況を総合的に判断する。

成績

レポート提出（40%）、受講状況（20%）、最終試験（40%）

授業スケジュール

第1回 会計制度の概要

我が国の会計制度である、企業会計基準、財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則、会社法及び会社計算規則等の会計制度の概要について講義する。

第2回 損益の認識1

収益の認識・測定方法について講義する。

第3回 損益の認識2

費用の認識・測定方法、費用・収益の対応関係について講義する。

第4回 金融資産1

金融資産の認識・測定のプロセス・理論について講義する。

第5回 金融資産2

金融資産の具体的な会計処理方法について講義する。

第6回 棚卸資産

棚卸資産の認識・測定の原則・理論、及び具体的な会計処理方法について講義する。

第7回 有形固定資産

有形固定資産の認識・測定の原則・理論、及び具体的な会計処理方法について講義する。

第8回 無形固定資産・繰延資産

無形固定資産・繰延資産の認識・測定の原則・理論、及び具体的な会計処理方法について講義する。

第9回 資産評価論

現在の会計制度における資産評価理論の構造について講義する。

第10回 負債会計

負債の認識・測定の原則・理論、及び具体的な会計処理方法について講義する。

第11回 純資産会計

純資産の認識・測定の原則・理論、及び具体的な会計処理方法について講義する。

第12回 外貨換算会計

外貨建会計の原則・理論、及び具体的な会計処理方法について講義する。

第13回 連結会計

連結会計の原則・理論、及び具体的な会計処理方法について講義する。

第14回 国際会計基準1

資産会計におけるIFRSと日本の会計との違いを講義する。

第15回 国際会計基準2

資産会計以外のIFRSと日本の会計との違いを講義する。

第16回 期末試験

事前・事後学習

あらかじめ資料を配布するので、講義聴講の前に、対応する項目を一読すること(予習)。
講義聴講の後に、講義された内容・配布資料について理解を深めること(復習)。